

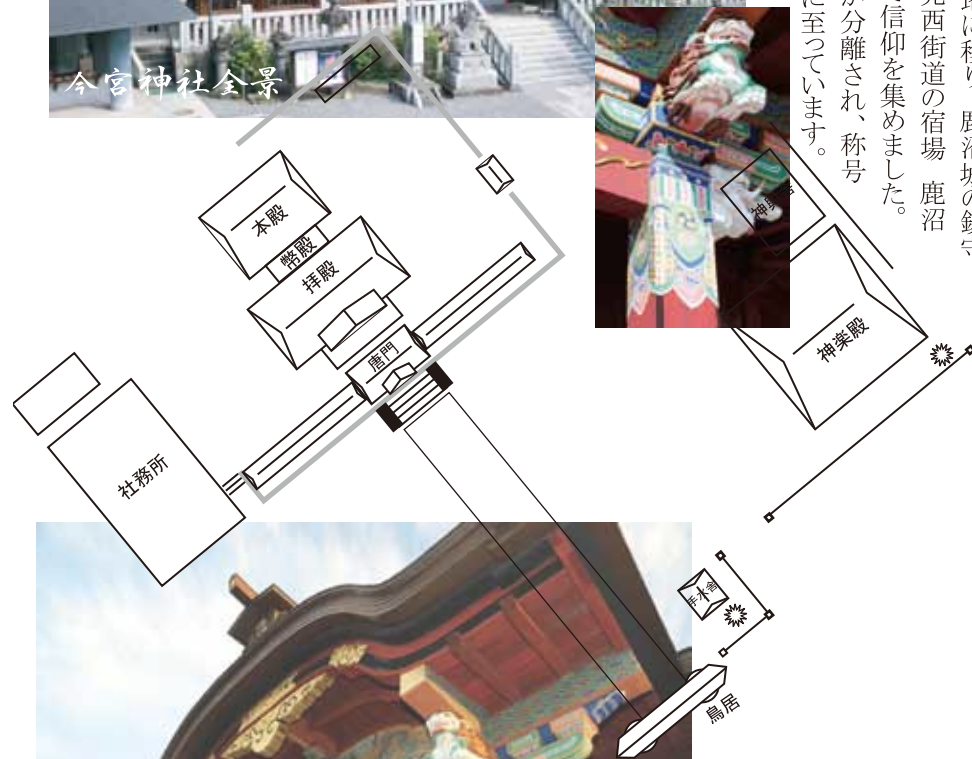
五百年の歴史を刻む

鹿沼総鎮守 今宮神社

創建は天文三年(一五三四)。現在地に鎮座してから四百八十七年になります。この歴史の中で幾度かの改修が繰り返され、現在の姿となっています。祭神は、日光二荒山神社と同じく、大己貴命(おおなむちのみこと)田心姫命(たごりひめのみこと)味耜高彥根命(あじすきたかひこねのみこと)の三柱であり、ほかに少彦名命(すくなひこなのみこと)を合祀しています。日光二荒神を祀る御所の森から現在地に移り、鹿沼城の鎮守となり、江戸時代には日光西街道の宿場 鹿沼宿の氏神、今宮権現として信仰を集めました。明治維新とともに神仏が分離され、称号を今宮神社と改め、現在に至っています。



今宮神社全景



例大祭付け祭りの屋台繰り込み
繰り出しを告げる大太鼓

今宮神社の祭礼

- | | |
|---------|-----|
| 一月一日 | 元旦祭 |
| 一月十日 | 春渡祭 |
| 二月三日 | 節分祭 |
| 二月十七日 | 祈年祭 |
| 六月三十日 | 大祓 |
| 七月二十日 | 縁故祭 |
| 十月第二土曜日 | 例大祭 |
| 日曜日 | 御巡幸 |
| 十一月二十三日 | 新嘗祭 |
| 十二月十日 | 冬渡祭 |
| 十二月三十一日 | 大祓 |

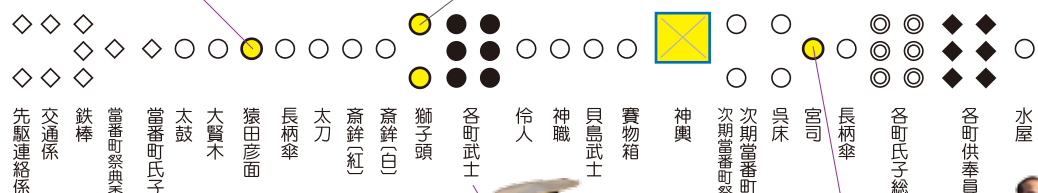
古式床しく時代絵巻

鹿沼今宮神社

御巡幸

いごゆんこう

神輿渡御〔みこしとぎょ〕とも呼ばれ、明治11年に神輿が建造されてから始まりました。鹿沼宿の繁栄を願い、当番組内各町の会所を格式高く練り歩く様は、時空を超えた「時代絵巻」そのものです。



猿田彦面



神輿



雨乞いの霊験を敬い、宵祭り、祭礼の日に鉾・櫓を出して神徳に感謝した思いが、現在の御巡幸隊列に「大櫓・斎鉾」として、残されています。

斎鉾

